

2010年10月4日

北海道知事 高橋はるみ 様

北海道脱ダムをめざす会

サンルダム、二風谷ダム・平取ダムおよび当別ダムに関する要望書

昨年の政権交代後、ダムの必要性を検証する動きが始まりました。9月27日に、「今後の治水のあり方に関する有識者会議」（以後有識者会議）が第12回会議を開催して、中間とりまとめを決定しました。私たちは、中間とりまとめ案に対して多くの意見を有識者会議に送付しましたが、決定された中間とりまとめは、案とほとんど変わらないもので、多くの意見がほとんど無視されたことは極めて遺憾です。しかし、12回会議議事要旨には、「検証に係わる検討の手順や手法に関して、検討主体で検討が進められていく過程で出てくる様々な疑問に対して、対応していく体制を整えることが必要であり、当有識者会議としても対応していくこととする」と述べられていて、個々のダムの検証作業に多くの疑問が出されたことを認めています。

この問題について私たちがもっとも危惧することは、個々のダム検証過程において私たちの意見が無視されることです。従来の河川整備計画の検討においては、市民団体等の意見が全くもしくはほとんど述べる機会がないか（沙流川流域委員会と当別ダム河川整備計画検討委員会）、意見募集はあっても結果として無視されてきました（天塩川流域委員会）。

私たちは、このような市民意見無視の状況を打破するために、市民自らが河川整備計画を検討して、提言する取り組みを始めました。すでに3回のダム事業検証のための検討会を開催し、提言を北海道にも送付してきました。今後行われる個々のダム事業の検証作業において、私たちは提言を提案していきたいと考えています。

そのような観点から、貴職に対して以下の要望を提出します。

要望事項

1. 現在行われている北海道と私たちの意見交換会を継続して、個々のダム事業の検証作業の進め方についても議題としていくこと。
2. 私たちの提言が検証作業で取り上げられること。そのために、検証作業において北海道と私たちとの意見交換が実現するようにすること。
3. 当別ダムについては本体工事が進行して凍結対象から除外されているが、凍結・再検証の対象とするよう引き続き意見交換を行うこと。

このことについての問い合わせは、北海道脱ダムの会の事務局をつとめている北海道自然保護協会（電話：011-251-5465、FAX：011-211-8465）までお願いします。